

平成 22
(2010) 年 11月 15 日掲載

魔都上海突撃ル。ボ

日本領土
尖閣諸島



上海万博中国館前で
「尖閣諸島日本領土」
を示す筆者（色調は復元）

上海万博議員視察訪問団

事務局長 水野しんじ

似ていい
「せん
抜きビ
ル」と
も呼ば
れている。



上海森ビル
2010年
博の入場者
6400万

世界一高い展望台から上海の
都市を一望できるわけだが、上海
の空は日本では死語となつた「ス
モッグ」でどんよりと覆われてい
た。反日の国の人々真ん中に日本の
ビルが建つていて、この巨大ビルの横道を行く
快だ。この巨大ビルの横道を行く
と、旧日本人街がある。現地ガイ
ドさんの話によると、この一帯は
未だに下水道が完備されず、排便
は「おまる」で済ませているとい
う。暖房は「練炭」に頼つていて、
超高層ビルが立ち並ぶ近未来都
市の中でも、「おまる」と「練炭」

人を超えることが命題だったが、
目標通り7300万人を超えた。
地元関係者によると、上海市は
市民1人につき入場券（160元、日
本円で2200円）と交通カード
(100元分)を何と1000万枚タダ
でばらまいたという。

史上最大を力づくで演出する中
國。万博の砂上の楼閣の裏側では、
人間らしい生活ができない貧困層
が8千万人（チャイナ・デーリー
紙）もいる。この人々に、入場券
分の手当をすべきだろう。

時あたかも、中国各地では政府
公認の「反日やらせデモ」が頻発。
私は万博会場で、小さな抗議として
「尖閣諸島 日本領土」という
カードを掲げた。

万博会場を圧する真っ赤な中国

館は、「人間みな平等」の、社会
主義国家建設を夢見た毛澤東が、
現在の中国を見て流した血の涙に
染まっていたようだ。

上海リニア 「おまる」

尖閣諸島問題で、重慶をはじめ
中国3都市で大規模な反日デモが
起きていた10月16日、小松とよ吉
（万博視察訪問団）一行10名は、上
海浦東国際空港に降り立った。

ここから一行は約30キロ先の龍
陽路駅まで、ギネスにも登録され
た地上で走る世界で一番早い乗り
物、上海磁浮列車（上海リニアモー
ターク）を体験。

飛行機に乗るときのような持

ち物検査を受けて乗車すると、車
内の椅子は安っぽいプラスチック
製。発車と一緒に助走の間もなく、

リニアモーターカーは磁気浮上
式なので、静かに走るのかと思いま
きや、上海リニアの車内は騒音と
揺れが激しく、乗り心地は都電並
み。しかし、たつた7分間で浦和
（上野間と同じ距離を走破。

上海リニアの轟音は、この路線
開通のために民家6,000軒を
強制退去させたブルドーザーのエ
ンジン音に聞こえた。

上海リニアの轟音は、この路線
開通のために民家6,000軒を
強制退去させたブルドーザーのエ
ンジン音に聞こえた。

上海の新しい名所としてそびえ
立つのが「上海環球金融中心」。
日本の森ビルによる中国で3棟目
のビル開発なので「上海森ビル」
とも、ビルの形状がせん抜きに

上海万博狂想曲

中日友好病院

訪問団人の一人が、見学中に転倒して頭を打つてしまつた。救急車が来るまでに30分もかかつた。

その間、多くの中国人や観光客が、負傷者を世話をしてくれた。何の愛想もなくぶつきらぼうに世話をしで黙つて去る中国人の姿に、上海で初めての清々しさを感じた。救急車は有料で約1万円かかる。

運ばれた病院は、地上20階建ての威容を誇る「上海市清安区中心医療国際センター」という国家総合病院。設備は近代的で清潔。

驚いたことに院内各所に「中日友好」の掛け軸が掲げられ、担当医師が流ちような日本語で患者の診断結果を説明してくれる。

上海市内には日本語が通用する中日友好病院が30カ所もある。中には全員が日本人医師の病院（上海国際クリニック）や日本語が院内の共通語という病院（上海平和クリニック）もある。

少なくとも医療面では、反日のムードは一切なく、むしろ親日的である。かつて中国の農村で人民のために献身的医療をおこなつた

「はだしの医者」の精神を引き継ぐ、上海の医療関係者には素直に敬意を表し感謝する。

マナー向上運動

上半身裸やパジャマ姿で外を歩くな、鼻毛は短く切れ、ところかまわすたんを吐くな、立小便をするな、タバコの吸殻をポイ捨てるな、ごみはゴミ箱へ入れる、食堂では大声で騒ぐな、乗車するときは並べ、街頭で小便をするな、わいせつ行為やギャンブル・麻薬をやるな、人に向かつくしゃみをするな、手鼻をかむな、便所で用を足したら水を流せ、便所で手を洗つたらハンカチで拭け、……。これは小学生に向けての注意ではない。現在の上海市民に対する指導である。日本ではこんなことをいちいち教えなくとも、子どもでも守つている。

中国に「常識」を強制している。上海では「マナー教本」を500万部印刷し、全戸配布した。確かに上海の町にはゴミが少ない。市民の意識が向上したのかと思ひきや、3万名にも及ぶ清掃服務員が、ポイ捨てをするそばから掃除しているのだ。

旅の最終日。上海市内の中華レストランで食事を済ませた後、地元のガイドさんが、「こここのトイレスはきたないので使わないで。空港まで40分なので、そこまで我慢して下さい」と発言。全員があぜんとした。

中国共産党が進めるマナー向上運動。これを教え込むべきは、世界規模でマナー違反を繰り返す中国政府である。



上海万博「中国館」



「東京ビッグサイト」パクリの上海万博「中国館」

中国共産党は「中央精神文明建設指導委員会」なるマナー向上のための政府機関まで作つて、

胡錦濤国家主席

返す中国政府である

う。

を筆頭に中国首脳たちには次のように指導すればいい。「他

国の領土を侵害したり、人権を弾圧してはいけません」



「東京ビッグサイト」